

## 協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

実施事業名	小中学生のラジオ職業体験事業		
団体（グループ）名	ACネットワーク研究会	代表者名	小西 穰
① 地域の課題 [課題を何と考えて事業を行った（行う）のか]	ITやプログラミング教育、家庭ゲーム機など、情報社会の中で子供たちは体験に飢えており、五感を活用するような職業体験を通して子供たちの心の健康や、将来の職業観をサポートします。		
② いつ [事業実施日時]	<p>&lt;児童向け実施時期&gt;令和2年10月～2月のうち2回 土曜14:00～15:00オンエア ※収録や打合せは別途。現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、児童側希望日程が当初12月迄から2月迄くらいまでずれ込む可能性もあります。&lt;打合せ等実施時期&gt;7月31日～8月1日…学習塾との打合せ、チラシ制作 8月5日…江別第一中の教頭先生とチラシ配布の事前打合せ 8月7日…江別市とチラシ内容の確認手順について打合せ 9月5日…ACネットワーク内企画打合せ 10月上旬～11月中旬…学習塾と参加者募集の打合せ※コロナ禍のためインターネット活用への変更を協議</p>		
③ どこで [場所]	（1）江別市内学習塾と連携し説明会を開催 （2）新札幌FMドラマシティのスタジオから放送 （3）参加者の希望または社会情勢により各家庭からのzoom収録も活用		
④ 誰のために [対象者]	江別市内の小中学生（想定人数 2～6名）×2回を想定 ※募集対象としては江別市内の全ての職業体験を希望する小中学生を対象とし、抽選でオンエアの想定人数とします。		
⑤ 実施内容・進捗状況 [どんなことをした（する）のか]	（1）ラジオ番組の放送内容を企画する （2）リスナーの気持ちを考えてオンエアの楽曲を考える （3）生放送のパーソナリティを体験する ※新型コロナウイルス感染症対策のため現在、募集や企画打合せの段階でありzoom収録も今後、児童側と調整する予定です。募集・事前調整は7月～10月に数度行っておりますがチラシの内容調整、市内外のスタッフの移動、学校行事過密の中での主旨説明や募集協力について対面が制限されており、電話・FAX・郵送での募集協力を再度調整しています。		
⑦ 事業の効果 [どんな効果があった（ある）か]	シミュレーションではなく実際のメディア生放送に自分の企画がオンエアされる事。リスナーへ放送を通じて語り掛ける事などが大きな自信や経験、思い出となります。児童生徒は新しい事にチャレンジする事や実際の大人の社会で自分の力を試すという事に前向きな気持ちと力がつきます。また、新札幌のスタジオ以外での実施可能性の検討については、インターネット会議システムzoomの他、北海道情報大学内のスタジオについて大学事務局長さんへ問い合わせ ネット番組やYouTubeなら可能性はあるがFM本放送の免許や設備は無いとしての調査結果となりました。		
⑧ 事業の展望 [今後どうするのか]	新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事の過密や、対面の制限、家庭や児童の新規取組に対する慎重姿勢で募集の段階でやや難しさが出ておりますが、インターネットでの募集や収録をzoomにする、冬休み中の思い出作りとする等、変化に対する工夫も踏まえ事業実施を引き続き推進します。またこの様な変化に対応する事や、インターネット活用でもラジオ放送が出来る事自体も、児童へ説明や体験として価値を伝えられるよう進めます。		

### 自由記載欄（事業に関連する写真やチラシ、PRなど）

【これからの募集PR】…ラジオ職業体験は新型コロナ感染症対策をした安全なスタジオで体験が出来るほか、インターネットの活用で自宅から参加したい児童・生徒も募集しています。収録した内容は、札幌市・江別市を中心とした地域FMで実際に放送され、インターネット全国配信もしています。職業体験、学校行事が減った中での友達との思い出づくり、冬休みの自由研究などにも活用できます。皆さんの応募をお待ちしております！（この文面はインターネット広告としても配信される予定です） 連絡先 ACネットワーク研究会 090-5953-9557（小西）